



人と地域がつながるベストな場所が北海道にはある

つながる。HUBest

「つながる。ハーベスト」とは？
 「新しい働き方」として注目されているワークセッション。その魅力のひとつでもある、人と地域とのつながりを通じて新たな活動を生みだすことができるワーク施設と、そこでの出会いを創り出す「コンシエルジュをインタビュ形式で紹介します。」

第三弾 札幌市

SAPPORO Incubation Hub DRIVE 高輪 健人さん

(株式会社大人 コミュニティマネージャー)



を保ち、提供を公言している設備への不自由さが無いことを指します。これは多くの「ワークキングススペース」でも実施していることだと思っています。

2つめの「インキュベーション」は利用者へビジネス成長のきっかけを提供することです。具体的には、4月からスタートアップをサポートする新プランを始めた。北海道U-25起業家シェアハウスとのコラボ、道内外のビジネス最前線の方を招いたトークイベントや、ビジネスパフォーマンスを最大化させるための朝ヨガや整体を開催しています。その他、様々なきっかけづくりを行っている。ホームページをご覧ください。とうれい！

利用者からも「こういうことやりたいんだけど」と相談されることがあるかと思えます。その際には「コミュニティマネージャーの高輪さんがきっかけづくりをされるというわけですね。」

そうですね。全てに答えられる訳ではないですが(笑)私がハブになることはできるので、「DRIVE」の利用者同士はもちろん、東京に住んでいた頃の人脈や、他の「ワークキングススペース」の利用者につながることもあります。

「ワークキングススペース」「DRIVE」とは？

—この施設の特徴や取組について教えてくださいいただけますでしょうか。

DRIVEが利用者へ提供している価値は2つあります。「ホスピタリティ」と「インキュベーション」です。

1つめの「ホスピタリティ」は、快適なオフィス環境の提供であり、常に清潔

つながる瞬間

初めて利用される方の3分の1が道外から来られますが、ふらっと寄っていたいて、「札幌に支社をつくりたいんだよね」とか「実はこういうアイデアがあるんだけど、誰かにつなげてくれない？」という相談が結構ありますね。

これは前職(「WeWorkジャパン」)の話になりますが、大企業の新規事業部やマーケティング部だけがシエ



(DRIVE ホームページ) <https://sih-d.jp/>



アオフィスを利用するケースもあり、大企業なので事業部長など上司の判断でシェアオフィスに行くことが決まり、「言われたからシェアオフィスに来た」という社員の中にはいらっしやいました。

でも、その人たちも半年くらいたつと、「ワークキングススペースでの人の出会いから新たなプロジェクトが生まれることが分かったり、「こういう考え方があるのか、これできるじゃん！」とつながる瞬間があるので、そういった場を札幌でもつくりたいと思い、いま取り組んでいます。

—これから「DRIVE」に来られる方にメッセージをお願いします。

北海道は、今メチャクチャ面白くなっています。興味を持った仲間が集まり、一緒に面白いことを作っていくフェーズだと思っています。北海道自体がベンチャー・スタートアップの一つとして頑張っている、完成された場所と働くのでなく、作り上げていくフェーズで関わりたいと思っています。であれば、是非一緒にやりましょう。仲間募集しています！

第四弾 津別町

コワーキングスペースJIMBA

立川 彰さん

(株式会社道東テレビ 代表取締役)



椅子は東京オリンピックのメダルケースを作った町内の「山上木工」の椅子を使用しています。ここには「道東テレビ」の事務所もあり、モニターや配信機材を揃えているので、生配信もできます。

——人や地域とつながれるのが「コワーキングスペースの魅力ですが、ここに来ると、津別の方々とどのようにつながれるか教えてください。

毎週金曜日に「JIMBAR」という週替わりマスターによるバーをやっています。地元の野菜などを使って、町内の料理自慢の人が腕を振るうのですが、その日のマスターや他のお客さんとも交流してもらえます。

「ここと同じくリノベーションプロジェクトで空き家を活用して建てられたゲストハウス「nanoranno」が近くにあるので、金曜日は津別に来て泊まって、夜は「JIMBAR」で町の人から情報収集してもらい、土日に行く場所を決めていただくという流れをつくりたいです。

JIMBAの強み

——この施設はどのような方に利用していただきたいとお考えでしょうか。

起業したい人や地方で働くことがどんなことか体験してみたい人たちですね。まずは、この人たちがどんな暮らしをしているか知ってもらうためにも、津別町に来てもらえたら凄くうれしいです。何なら「JIMBAR」のマスターを体験したい人でも全然OKです(笑)

あと、起業される方は、必ずプロモーションを考えるタイミングがあると思います。そんな時に、うちは映像もつくれるのが強みです。

起業する人にとっては、コワーキングスペースを使ってもらうだけでなく、情報発信もセットで出来るし、我々道東テレビにとっては、映像の仕事づくりにもつながるといって観点で、機会創出を目的にこの施設を運営しているところがあります。

——最後に、このインタビューを見て、JIMBAに来られる方々にメッセージをお願いします。

地方で何かやりたいと思う人は来てもらって、実際に人と触れあってみようこと、雰囲気がかめるのではないかと思えます。空き家の数などを含めて、津別町は「余白」が多いので、何かやりたいことが

ある人は実現できる環境といえます。私はキャンピングカー、中継車、キッチンカーを購入したのですが、都合がたつたら駐車場がネックになったりするじゃないですか。でも、ここは駐車場もいっぱいあるし、そういった意味でやりたいことを実現しやすい場所かもしれないと思っています。大自然の中で働きたいとか、夢がある方は是非とも来ていただいて、仲間になってもらえればうれしいですね。

このインタビュー記事は、誌面の都合により抜粋版を掲載しています。インタビュー全文については、北海道公式HPにて公開していますので、是非ご覧ください。



インタビュー全文はHPをCheck!



(JIMBA ホームページ) www.facebook.com/jimba19



該当する施設を月1回程度、HPでご紹介!

「つながる。ハーベスト」対象施設

- テレワークができる施設
- 地域を知るコンシェルジュがいる施設
- 誰もが気軽に利用できる施設
- 地域住民も利用している施設

どさんこ交流テラス

有楽町駅前

東京交通会館8階

「北海道に住んでみたい」「暮らしてみたい」の相談窓口

北海道庁では、北海道への移住を考えている方や、北海道での暮らしに関心をお持ちの方からのさまざまなお問い合わせ・ご相談に対応する窓口として、東京有楽町駅前、東京交通会館8階に「どさんこ交流テラス」を開設しています。

北海道の市町村情報をはじめ、「しごと」、「住まい」、「暮らし」などに関する情報提供とともに、ご相談にお答えします。
ぜひ、お気軽にお問い合わせください！

北海道への移住相談に相談員が対応！



○どさんこ交流テラスでは、専属の相談員があなたのお話を伺います。北海道の冬の暮らしや興味のある地域の情報など、あなたの悩みに親切にねいに対応し、移住の実現をサポート！

北海道の暮らし情報が盛りだくさん！



○道内各市町村の情報や「しごと」などに関するパンフレットを多数取りそろえています。

○北海道の情報が入手できる移住関連イベントの情報も、随時お知らせしています。

相談は、対面(要予約)、電話、メールのほかオンライン(要予約)でも行っています！

◎ どさんこ交流テラス (北海道ふるさと移住定住推進センター(東京))

場所：東京交通会館8階
(東京都千代田区有楽町2丁目10番1号)
開設時間：火曜日～日曜日 10:00～18:00
(月・祝日、夏期休暇、年末年始は休業)
お問い合わせ
TEL：090-1541-0011
E-mail：hokkaido1@furusatokaiki.net



どさんこ交流テラスでお待ちしています！

北海道でも相談を受け付けています！

◎ 北海道ふるさと移住定住推進センター(札幌)
場所：北海道庁4階(札幌市中央区北3条西6丁目)
開設時間：月曜日～金曜日 8:45～17:30
土曜日・日曜日 事前予約により適宜対応
(祝日、年末年始は休業)
お問い合わせ
TEL：011-204-5089
E-mail：hokkaido.iju@pref.hokkaido.lg.jp



オンライン相談の受付はこちらのQRコードから！



「創る」バックナンバーは、「ほっかいどう応援団会議ポータルサイト」へ

QRコード読取で
バックナンバーへ

ほっかいどう応援団会議

検索

URL：https://hkd-ouendankaigi.jp/info/tukuru.html